

天然記念物等

- 1 名称 南大東島東海岸植物群落（国指定・地域指定）
所在地 字旧東 436 番地（実釣場から斎藤港までの岩場と防風林一帯）
説明 南大東島の東側の海岸付近の岩場と防風林一帯には、ミフクラギ、アダン、ケツメグサ、クサトベラ、モンパノキ、シオカゼテンツキ、オオソナレムグラ、コウライシバ、ボロジノニシキソウ、ミズガンピ、アツバクコ、ウスジロイソマツ、グンバイヒルガオ、シロバナミルスベリヒユ、イソフサギなどの海岸植物の混生した群落が見られる。このうち、アツバクコ（通称・ウミグミ）は、ハワイ、小笠原諸島と南北大東島だけに分布する種であり、ボロジノシキソウは、オーストラリア、マリアナ諸島と南北大東島に分布する種である。

官報告示 昭和 50 年 3 月 18 日（文部省告示第 29 号）

- 2 名称 大池のオヒルギ群落（国指定・地域指定）
所在地 大池の北岸周辺（陸地・湿地・水中が指定地域）
説明 南大東島のオヒルギは内陸の池のふちに成育し、外洋から隔離された世界的にも珍しい陸封型のマングローブである。このオヒルギ群落は、島の形成の初期の環礁の時代に、環礁に浸入し成育していたものが、島の隆起にともなって池に残されたものと考えられる。この群落の特徴は前縁にヒトモトススキ群落があり、林内に陸上植物のモクタチバナ、クチナシ、ガジュマルなどがあること、実生が落下して、親樹の下で密に成育していること、成木に板根がよく発達することなどである。

官報告示 昭和 50 年 3 月 18 日（文部省告示第 29 号）

- 3 名称 ダイトウオオコウモリ（国指定・所在地、地域を定めず指定）
所在地 （主な生息地）南北両大東島
説明 本種は色彩の美しいオオコウモリである。体毛は羊毛に似ていて、首から体の半分をこえる部分の体毛は、白色あるいは、黄金色である。日中は林の中で休息し、夜になると活動を始め、屋敷の木にも飛来する。フクギ、ヤラブ、バンジロウ、ガジュマル、アコウ、イヌビワの熟した果実や、ヤシの幼果などを好んで食べる。昆虫を捕食することはない。

官報告示 昭和 48 年 6 月 2 日（文部省告示第 102 号）

- 4 名称 南大東島西港旧ボイラー小屋
所在地 南大東村字池之沢 146 番地
説明 明治 33 年の第 1 回開拓者が上陸地点に選んで以来、南大東島の主要港として整備されてきた西港を見渡す場所に建つ。台風時に船舶を陸地に引き揚げておくための施設の原動力室で、島の珊瑚石灰岩を乱積にして壁体を築造（大正 13 年頃）。島の開拓の歴史を語る遺構のひとつ。

官報告示 平成 12 年 12 月 20 日（文部省告示 191 号）